

質問
血液検査で、がんを診断するのは難しいと聞きました。血液検査の腫瘍マーカーは、あまり信頼できないのですか。将来は少しの血液でがんを診断できるようになるというのは本当ですか。

腫瘍マーカーの信頼性は



中尾 隆之
徳島大学病院
医療技術部長

回答
さまざまな病

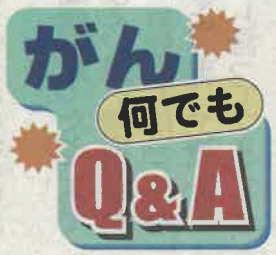
観察に欠かせないのが血液検査です。しかし、がんの診断は、コンピュータ断層撮影（CT）や磁気共鳴画像装置（MRI）、内視鏡検査が主役。血液検査は脇役となる場合が多いです。

そんな中で重要な役割を果たすのが、がん診断の血液検査の代表格である腫瘍マーカーです。その主な例を紹介します。

肝細胞がんに使われるのは、AFPやAFP-L3分画やPIVKA-IIがあります。これらの組み合わせによって、早期がん（Ⅰ）で4割、進行がん（Ⅱ）で8割以上のがんを見つけることができます。

しかし、肺がんでは、早期がんの診断はほぼ不可能です。肺がんの中でも、腺がんはCEAとNS

肝細胞・前立腺検査で有効



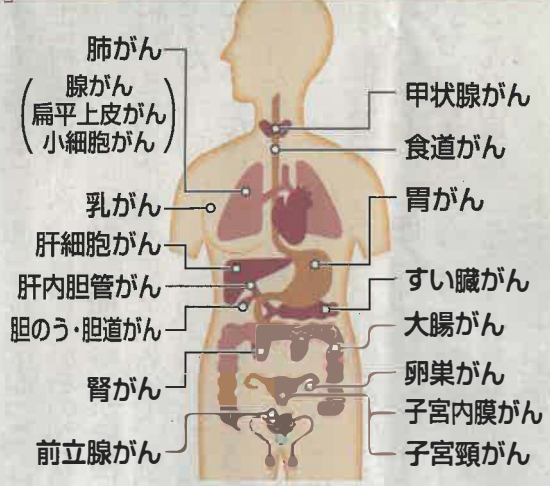
IX、扁平上皮がんはシ
PLNSCC、小細胞が
んはPro-GRPとNSE
などを診断に用いま
す。

大腸がんはCEAとC
A19-9が進行具合や治
療効果の判定に役立ちま
す。とはいえ、早期がん
の診断はほぼ不可能で
す。

卵巣腫瘍は通常はCA
125を用います。さ
らに近年登場したHE4

がん何でもクイズ
2016年に始まった国内のがん患者に関するデータを集計・分析する新しい制度を何と呼ぶでしょう。
①地域がん登録②全国がん登録③院内がん登録
行こうよ！がん検診

腫瘍マーカーで分かる主ながん



を併用することで、良
か悪性かの判別が8割程
度可能です。
前立腺がん用いられ
るPSAは最も優秀な腫
瘍マーカーです。これは
先進国で統一の数値が使
われています。血液1ミ
リ当たり4・0ナノを超

えたら、前立腺生検を勧
めます。
腫瘍マーカーは、がん
の診断では今のところ補
助的な役割です。それで
も手術後のがん残存の可
能性の評価や、化学療法
の効果の判定、がんの再
発予測、予後の予測とい
った治療の場面で大いに
活躍しています。

人間ドックでは、これ
ら腫瘍マーカー検査が可
能です。ところが職場や
住民検診のがん検診で
は、設定されていないこ
とがほとんどです。体調
に何か不安があれば医療
機関の受診を勧めます。
現在、血液中に存在す
るリボ核酸（RNA）の
一種であるマイクロRNA
を用いた早期がん診断
の研究が進んでいます。
そして数年後には実用化
の予定です。この検査が
実用化すると、人間ドッ
クでのわずかな量の採血
によるオプシヨン検査
で、多くの種類の早期が
んが高精度に判明するで
しょう。検査技術の進歩
に期待してください。

がんに関する質問は
徳島がん対策センター
電話 088 (634) 6442
(平日午前
8時半から
午後5時
まで)へ。

マイクロRNA 研究進む

(第4土曜掲載)